

ユース審判員の育成について (強化育成副部長(ユース担当) 大橋 忠仁) 次回発行 10月予定

蝉の声の少ない夏かと思いましたが、ここ数日、本格的に騒がしく蝉が鳴く暑い夏となってきました。大阪協会審判員の皆様には日々、本協会審判活動にご理解・ご協力・ご活動に感謝いたします。

さて、今年度、審判委員会の強化育成部のユース担当をさせて頂いています。ユース審判員は自チームの試合の審判をするだけで、なかなか資格を活用できていない審判員も多く、またワールドカップで活躍する審判団を見て高いレベルでの審判を望んでいるユース審判員もいるのではないかと思います。そんな審判員のステップアップの機会になればと思い大阪協会としてもユース審判育成に取り組んでいきたいと考えています。

去る5月4、5日に大阪春季サッカー大会の決勝リーグを利用した観戦研修会。7月26日には第2回堺ユースサッカーフェスティバルの試合を利用して実技研修会も実施しました。両日参加してくれたジュニアユース年代の審判員もおり、研修会のなかでの積極的な発言、競技規則を熟知した発言もあり今後に期待の持てるよい審判員たちでした。(右上の写真は7/26の集合写真)

暑い日々がまだまだ続きますが、審判員の方々には健康に留意され、ますますよい審判活動されますようお祈り申し上げます。



●ユース研修審判研修会(6/4~5)

6/4(土)と6/5(日)の日程それぞれで、高校生・中学生を対象に高校春季大会決勝リーグ観戦研修を実施いたしました。二日間で延べ17人のユース審判員に参加していただきました。以下に感想の一部を掲載します。



・疑問に思っていることを映像を見ながら指導して頂いたので、とても自分にとってプラスになりました。同世代の審判員として話せたことが良かったです。(6/4参加、高2)

・普段サッカーにあまり関わっていないので、今回の機会がとても貴重でした。審判活動はいずれしたいです。(6/4参加、中2)

・観戦している間にファウルを見極めたりするところはすごくいい勉強になりました。ラインもかなり細かったので、自分の学校でもていねいにラインを引こうと思いました。

(6/5参加、高2)

・今回いつも試合を見るのとは少し違う観点で見させてもらって、主審がそこまで細かい所まで気を配って裁いているんだと初めて知りました。今後また副審をしたりする機会があれば今回の経験を活かしてやっていきたいなと思います。(6/5参加、高2)

・とてもいい研修ができたと思います。今回の研修で学んだことを次の審判活動でいかしたいと思いました。審判がそこまで考えているとは思いませんでした。(6/5参加、高3)



熱心に研修を受ける様子(上)
 ボールの空気圧を測る(下)

●昇級者・昇格者のご挨拶

大阪から勝部氏、廣瀬(成)氏が2級昇格、広瀬(研)氏、谷本氏、津和氏がカテゴリーIIに昇格されました。おめでとうございます！これから益々のご活躍を期待しています！！

(3級 勝部健氏)皆様のお陰で7月に2級に昇級させて頂くことになりました。機会あるごとに、インストラクターを初めとする多くの方が私にアドバイスをしてくださった結果がこのような昇級という形になったと考えております。本当にありがとうございます。まだまだ、私は審判員としても一人の人間としても未熟ですので、皆様にご迷惑をおかけすることになると思いますが、精一杯、努力しますので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

(3級 廣瀬成昭氏)この度は、6月に昇級審査を受けさせていただき、無事に合格の通知を受け、7月に2級に昇級させていただきました。今回2級に昇級できたのは、たくさんの方々のお力添えがあったおかげだと思っています。本当にありがとうございます。今後は、2級審判員としてこの育成部で学んだことを胸に、さらに上級を目指して目の前の試合に全力で取り組んでいきたいと思っています。また会場などで一緒させていただいた際には、ご指導のほどよろしくお願い致します。

(2級 津和英史氏)2011年度後期よりカテゴリーIIへ上がることができました。これも、皆様の指導やアドバイスのおかげです。感謝しています。同年代2級に負けたくない一身でフットサル審判も始め、ゲームコントロールやコミュニケーションの重要性、スモールフィールドでの早い試合展開、それに対応するための早い判断、素早い動作、笛のタイミングなどがサッカーに役立ち、今の自分が築けました。これからも向上心を持ち続け、仲間と共にレベルアップしていきたいです。これからもよろしくお願い致します。追記:皆さんフットサル審判もやってみませんか。すご〜くサッカーにも役立ちますよ。

2011海外遠征特集

●AFC U14 Girls Festival of Football Courses 2011(6/4~15)

(3級 兼松春奈氏)

今回初めて海外研修へ参加させて頂きました。私は審判の経歴がとても浅く、国内の研修会も何度か参加しただけであつたためこの研修への参加に対してとても不安が大きかったです。そして講義や打ち合わせ、すべてが英語で会話も英語しか通じないということに関しても不安がありました。それでも自分ができる限りの準備をしてこの研修に臨みました。

11 日間のうちはじめの 5 日間は後の AFC U14 Girls Festival of Football Courses 2011 に向けての準備期間として講義やプラクティカルトレーニング等を行いました。



研修会での全体写真

2 名のインストラクター(オーストラリアとヨルダンの方)に指導して頂きました。ファールを分析する講義ではテストもあり、研修生がファールをどこまで正しく理解しているかを指導者の方々が確認していました。私にとってはそのテストがとても難しく競技規則の勉強不足を痛感しました。

大会は 10 日から始まり、私はこの 4 日間で主審を 4 試合させて頂きました。14 歳以下の試合でしたが国によって体格、サッカーのレベルが違うのでとても難しい試合が多かったです。その中でも特に印象に残っているのがベトナム対カンボジアです。この試合ではあまりパスをつなぐことなく、中盤で両チームの選手がボールを奪い合うことが多かったので巻き込まれてしまうことがありました。またプッシングなど見えているファールなかなかとれず、一定の基準で笛を吹くことができませんでした。この試合で争点では、何か起こるかもしれないという意識を持ちながら見なければいけないことを学びました。

この研修へは 8 カ国 16 名が参加し、私と同世代の方が多く、他の国でも女性の審判員が活躍しているということがとても励みになりました。この研修で学んだことを今後の審判活動に活かせるように頑張りたいと思います。最後になりましたが、多くの方々に指導して頂き、そして関わっていただきこの研修会に参加できました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

●2011 The 13th China-Japan-Korea City Youth Football Tournament (7/14~16)

(2級 大原謙哉氏)

上海市金山区で行われたこの大会に、私は帯同審判員として参加させて頂きました。そして普段の審判活動では絶対にできない経験をする事ができました。

主審を担当した試合、前半は両チームフェアで、選手に注意をしても理解してくれているようでした。自分としても良いポジションで自信を持って判定できたと思います。そして得点もカードもなく前半を終えました。しかし、後半になると両チーム非常に激しくなり、結果として警告 4 枚、一発退場 2 枚という多くのカードを示すことになってしまいました。判定に対する不満というものは感じられなかったのですが、突然スイッチが入ったように両チームが対立してしまったのです。そのきっかけとなったのは、上海の FW が蔚山の GK に遅れて無謀なファールチャージを犯したときでした。それまで熱くなっている様子のなかった蔚山の GK がファールされたことに報復し、上海の FW をけってしまいました。上海の FW に警告、蔚山の GK に退場を命じたのですが、試合はその後数分間コントロールできなくなってしまいました。

試合を振り返ると、前半にも蔚山の GK に対するファールがあつたのですが、そのときはそれほど重大なファールであると思わなかったため、何も対応しませんでした。それが原因で後半の対立が起こったのかどうかわかりませんが、選手の気持ちを感じ取れていないという自分自身の課題が見えた気がします。

また、大会期間中、上海の審判員が主審を担当する試合を見る機会がありましたが、一番感じたことは、上海の審判員は試合中に絶対に笑顔を見せないということでした。判定の精度や動きに関しては、日本の審判員の方が、技術があるように思いましたが、上海における「審判と選手の関係」には考えさせられました。今後の審判活動に生かせると思います。

最後に、このような貴重な経験をさせていただいた大阪府サッカー協会の方々、遠征中大変お世話になりましたスタッフの方々、また、大会期間中お世話になりました上海サッカー協会の方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

●第 1 回大阪トレセン(7/18) (3級 富田浩司氏)

今回初めて参加させていただいた大阪トレセンでは、午前中に講義とプラクティカル、午後は練習試合を吹き、それについての反省会というのがおおまかなスケジュールでした。午前中の講義は、西岡ダイレクターによるもので、その講義内容の内のひとつに、「自分の長所と短所を知る」というものがありました。短所は星の数ほど出てくるのですが、長所は 1 つも思い浮かびません。それに、あつたとしても長所には気づきませんでした。次回からのトレセンでは「自分のストロングポイントを作る」ということをテーマに頑張っていこうと思います。

強化育成部今後の予定

8/19 (金) ~ 21 (日)

神鍋宿泊研修会 (神鍋)

8/27 (土)、28 (日)

指導育成宿泊研修会

9/3 (土)、4 (日)

第 2 回大阪トレセン (大院大)

9/15 (木)

指導育成勉強会 (協会)

10/20 (木)

指導育成勉強会 (協会)